

平成30年度資金の保管状況及び運用実績（見込み）について

美濃加茂市は、資金の運用実績を公表することにより、開かれた市政を推進しています。

今回は、平成30年12月末現在での運用見込みを公表いたします。前年度見込みと比較してご覧ください。

平成30年度実績（確定値）の公表については、平成31年8月下旬を予定しております。

1 歳計現金と歳入歳出外現金

「歳計現金」と「歳入歳出外現金」の毎月末の残高状況は、表1のとおりです。この金額は、毎月実施します例月現金出納検査において、監査委員に報告しています。

表1 歳計現金・歳入歳出外現金の月末残高

時期	区分	歳計現金 (円)	歳入歳出外現金 (円)	合計 (円)
平成30年	4月末	500,137,138	366,752,205	866,889,343
	5月末	3,430,006,127	401,430,358	3,831,436,485
	6月末	3,482,583,321	547,333,346	4,029,916,667
	7月末	3,123,179,055	728,610,135	3,851,789,190
	8月末	3,388,031,650	426,107,840	3,814,139,490
	9月末	2,973,055,341	515,455,289	3,488,510,630
	10月末	1,995,896,855	393,276,379	2,389,173,234
	11月末	2,018,356,031	503,445,469	2,521,801,500
	12月末	2,279,519,991	198,545,368	2,478,065,359

【地方自治法（抜粋）】

（現金及び有価証券の保管）

第235条の4 普通地方公共団体の歳入歳出に属する現金(以下「歳計現金」という。)は、政令の定めるところにより、最も確実かつ有利な方法によりこれを保管しなければならない。

2 債権の担保として徴するもののほか、普通地方公共団体の所有に属しない現金又は有価証券は、法律又は政令の規定によるのでなければ、これを保管することができない。

3 法令又は契約に特別の定めがあるものを除くほか、普通地方公共団体が保管する前項の現金(以下「歳入歳出外現金」という。)には、利子を付さない。

【地方自治法施行令（抜粋）】

（歳計現金の保管）

第168条の6 会計管理者は、歳計現金を指定金融機関その他の確実な金融機関への預金その他の最も確実かつ有利な方法によつて保管しなければならない。

（歳入歳出外現金及び保管有価証券）

第168条の7 会計管理者は、普通地方公共団体が債権者として債務者に属する権利を代位して行うことにより受領すべき現金又は有価証券その他の現金又は有価証券で総務省令で定めるものを保管することができる。

2 会計管理者は、普通地方公共団体の長の通知がなければ、歳入歳出外現金又は普通地方公共団体が保管する有価証券で当該普通地方公共団体の所有に属しないもの出納をすることができない。

3 前項に定めるもののほか、歳入歳出外現金の出納及び保管は、歳計現金の出納及び保管の例により、これを行なわなければならない。

2 運用基金

定額の資金を運用するために設ける基金（運用基金）は5本あり、このうち現金については、毎月実施します例月現金出納検査において、監査委員に報告しています。この中で、4本の基金については現金を一体的に保管しており、その金額は表2のとおりです。

表2 運用基金の月末残高

時期	区分	運用基金 (円)
平成30年	4月末	1,073,300,304
	5月末	1,076,772,850
	6月末	1,079,548,762
	7月末	1,079,630,367
	8月末	1,079,660,716
	9月末	1,079,889,819
	10月末	1,068,361,001
	11月末	1,068,537,332
	12月末	1,068,459,835

市は、表1、表2で示しました「歳計現金」、「歳入歳出外現金」及び「運用基金」の現金を一体的に保管しています。これら資金の合計金額の毎月末の残高状況は、表3のとおりです。

表3 歳計現金等と運用基金の合計額の月末残高

時期	区分	歳計現金 (千円)	歳入歳出外現金 (千円)	運用基金 (千円)	合計 ※(千円)
平成30年	4月末	500,137	366,752	1,073,300	1,940,189
	5月末	3,430,006	401,430	1,076,772	4,908,208
	6月末	3,482,583	547,333	1,079,548	5,109,464
	7月末	3,123,179	728,610	1,079,630	4,931,419
	8月末	3,388,031	426,107	1,079,660	4,893,798
	9月末	2,973,055	515,455	1,079,889	4,568,399
	10月末	1,995,896	393,276	1,068,361	3,457,533
	11月末	2,018,356	503,445	1,068,537	3,590,338
	12月末	2,279,519	198,545	1,068,459	3,546,523

※ 端数整理のため、合計額が不一致となっているところがあります。

注1 「歳計現金等」 市の一般会計及び特別会計に予算計上された歳入・歳出に属する現金で、日々の支払いのために準備しているもの（「歳計現金」といいます。）と、法令等に基づき一時的に預かる県民税や職員の源泉所得税等の現金（「歳入歳出外現金」といいます。）のことであります。

注2 「運用基金」 条例の定めるところにより、特定の目的のために定額の資金を運用するための基金のことであります。市ではこのほかに、特定の目的のために資金を積み立てるための基金「積立基金」を設けています。

3 歳計現金等と運用基金の運用実績（見込み）

市は、常に収入及び支出予定額の把握に努め、その結果生じる余裕資金を、安全性と流動性を確保しながら効率的な運用を行っています。具体的には、指定金融機関や収納代理金融機関への定期預金で運用を行っています。

表4 歳計現金等と運用基金の運用実績（見込み）の比較 (単位：千円)

年度 区分	平成 27 年度 (見込み)	平成 28 年度 (見込み)	平成 29 年度 (見込み)	平成 30 年度 (見込み)
平均資金残高	2,924,024	3,041,064	3,374,471	4,105,097
年間利子見込額	1,800	827	115	212
運用利回り(%)	0.062	0.027	0.003	0.005

※ 平均資金残高… 各年度の4月1日から12月末日までの1日あたりの資金残高

※ 運用利回り…… 年間利子見込額 ÷ 平均資金残高 × 100 (%)

4 積立基金

「積立基金」の毎月末の残高状況は、表5のとおりです。この金額は、毎月実施します例月現金出納検査において、監査委員に報告しています。

表5 積立基金の毎月末の残高

時期	区分	積立基金 (円)
平成30年	4月末	6,376,371,421
	5月末	6,304,512,874
	6月末	6,304,512,874
	7月末	6,304,512,874
	8月末	6,304,512,874
	9月末	6,304,512,874
	10月末	6,304,512,874
	11月末	6,304,512,874
	12月末	6,304,512,874

【地方自治法（抜粋）】 (基金)

第241条 普通地方公共団体は、条例の定めるところにより、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するための基金を設けることができる。

2 基金は、これを前項の条例で定める特定の目的に応じ、及び確実かつ効率的に運用しなければならない。

(中略)

7 基金の管理については、基金に属する財産の種類に応じ、収入若しくは支出の手続、歳計現金の出納若しくは保管、公有財産若しくは物品の管理若しくは処分又は債権の管理の例による。

【地方財政法（抜粋）】

(地方公共団体における年度間の財源の調整)

第4条の3 (略)

2 前項の規定により積み立てた金額(以下「積立金」という。)から生ずる収入は、すべて積立金に繰り入れなければならない。

3 積立金は、銀行その他の金融機関への預金、国債証券、地方債証券、政府保証証券(その元本の償還及び利息の支払について政府が保証する債券をいう。)その他の証券の買入れ等の確実な方法によって運用しなければならない。
(財産の管理及び運用)
第8条 地方公共団体の財産は、常に良好の状態においてこれを管理し、その所有の目的に応じて最も効率的に、これを運用しなければならない。

5 積立基金の運用実績(見込み)

市は、「積立基金」に属する現金を安全性と確実性を確保したうえで、基金の取崩しや積立等を考慮しながら定期預金や債券(地方債ほか)による効率的な運用を行っています。

平成30年12月末現在9本の基金があり、一括管理を行っています。

表6 積立基金の運用実績(見込み)の比較

(単位:千円)

年度 区分	平成27年度 (見込み)	平成28年度 (見込み)	平成29年度 (見込み)	平成30年度 (見込み)
平均月末残高	5,466,823	5,858,483	6,368,745	6,312,497
年間利子見込額	16,087	38,710	58,152	49,588
運用利回り(%)	0.294	0.661	0.913	0.786

※ 平均月末残高・・・各年度の4月から12月までの毎月末残高の合計額を9で除したものと

※ 運用利回り・・・年間利子見込額 ÷ 平均月末残高 × 100 (%)

6 基金の保管状況

運用基金に属する現金の平成30年12月末現在の残高は、10億6,849万円ほどであり、前年度末比で362万円ほどの減となっています。運用基金に属する現金は、定期預金や普通預金で運用を行っています。(運用実績見込みは、表4参照)

表7-1 運用基金に属する現金の年末残高

区分 基金名	平成30年3月末現在 (円)	平成30年12月末現在 (円)	比較増減 (円)
土地開発基金	1,049,572,203	1,046,146,123	▲ 3,426,080
高額療養費貸付基金	5,569,728	5,569,728	0
美術品等収集基金	10,044,717	10,044,717	0
ふるさと文庫基金	6,896,370	6,699,267	▲ 197,103
小計	1,072,083,018	1,068,459,835	▲ 3,623,183
収入印紙等購買基金	1,105,948	2,488,600	1,382,652
合計	1,073,188,966	1,070,948,435	▲ 2,240,531

積立基金に属する現金の平成30年12月末現在の残高は、63億451万円ほどであり、前年度末比で7,185万円ほどの減となっています。積立基金に属する現金は、定期預金と債券(地方債ほか)による運用を行っています。(運用実績見込みは、表6参照)

表7-2 積立基金の年末残高

基金名	区分	平成30年3月末現在 (円)	平成30年12月末現在 (円)	比較増減 (円)
財政調整基金		4,245,172,317	3,795,172,317	▲ 450,000,000
減債基金		392,670,012	342,670,012	▲ 50,000,000
国際交流基金		23,613,385	20,751,572	▲ 2,861,813
福祉基金		321,876,187	321,876,187	0
ふるさと水基金		11,058,611	11,058,611	0
国保財政調整基金		472,075,509	472,075,509	0
介護給付費準備基金		295,819,732	293,290,492	▲ 2,529,240
庁舎建設基金		609,432,873	609,432,873	0
ふるさと納税基金		4,652,795	438,185,301	433,532,506
合計		6,376,371,421	6,304,512,874	▲ 71,858,547